

令和 6 年度新規 BRIDGE 提案施策に係る 事前評価結果及び予算配分について

令和 6 年 5 月 23 日
SIP/BRIDGE 評価委員会
科技イノベーション事務局 SIP/BRIDGE 総括

1. 施策及び配分額の策定について

(1) 評価について

- ・令和 6 年度新規施策について、「研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム運営指針（平成 29 年 5 月ガバニングボード決定）」（以下「運用指針」という。）4. プログラムの運営（1）研究開発型に基づき、ガバニングボードにおいて 7 つの重点課題を設定し（3/8）、各省庁から施策の募集を行った。（3/8～29）
- ・提案のあった 27 施策、要望額計 5,244 百万円（7 省）について、プログラム統括チームなどによる意見を踏まえつつ、運用指針 5.（1）②における対象施策に対する評価に基づき、プログラム統括チームなどの意見を聴取するとともに BRIDGE 評価委員会（5/9～15）において対象となる施策、配分額等の検討を行った。
- ・その結果について報告をするので、ガバニングボードとして対象となる施策、配分額等の策定をお願いしたい。

(参考 1) 重点課題

1. 革新技術により業務プロセス転換、または政策全体の転換が期待される課題
2. SIP3 期の検討（FS 等）で抽出された社会実装に向けた各省庁での取組
3. SIP 成果の社会実装
4. スタートアップの事業創出
5. 国際的な事業展開を目指す若手人材の育成
6. 国際的な研究開発動向や社会ニーズの観点から、研究活動が不足している課題
7. 各省庁プロジェクトで国際標準戦略の推進（※もっぱら国際標準取得等の場合はシステム改革型「標準活用加速化支援事業」にて実施。）

(参考 2) BRIDGE 評価委員名簿

篠原 弘道	CSTI 有識者議員【座長】
上山 隆大	CSTI 有識者議員（常勤）【座長代理】
波多野 睦子	CSTI 有識者議員

南部 智一	内閣府政策参与・プログラム統括チーム長
五十嵐 仁一	プログラム統括チーム長代理
須藤 亮	内閣府アドバイザー

(参考3) プログラム統括チーム名簿

五十嵐 仁一	プログラム統括チーム長代理
川上 登福	(株) 経営共創基盤 共同経営者マネージングディレクター
栗野 盛光	慶應義塾大学経済学部 教授
島田 啓一郎	ソニーグループ(株) 社友
須藤 亮	内閣府アドバイザー
南部 智一	内閣府政策参与・プログラム統括チーム長
林 いづみ	弁護士
細田 孝宏	ジャーナリスト
眞野 浩	(一社) データ社会推進協議会 専務理事/事務局長
吉本 陽子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主席研究員

(2) 評価方法

・BRIDGE 評価委員会において、運用指針 5.(1) ②に基づき、次の①～④の評価項目・基準により総合評価及び配分額の案を策定した。

- ①BRIDGE の目的 (SIP や各省庁の研究開発等の施策で開発された革新技术等を社会課題解決や新事業創出に橋渡しするための取組) に合致するとともに、対象とする課題 (問題) が明確であり提案施策が効果的な解決手法・手段となっていること。また、成果としての社会実装像が明確であること。
- ②提案施策の目標、計画、体制 (想定) が課題の解決に適切であること。
- ③課題解決のため、提案施策のみならず他に必要な施策、ルール整備、標準化等が明確にされ、こうした関連する施策の実施または実施の見込みがあること。
- ④想定している事業内容と事業費用が適切であること。

(総合評価の基準)

- S : 提案は評価基準①～④を満たしている (= 非常に優れている)
- A : 提案は評価基準①、②を満たしている (= 優れている)
- B : 提案は評価基準①を満たしているが②が不十分 (= 満たしている)
- C : 提案は評価基準①を満たしていない (= 満たしていない)

(配分額)

- S : 配分要望額 100%
- A : 配分要望額 80%程度
- B : 配分要望額 50%程度 (例外あり)
- C : 配分要望額 0%

- ・なお、BRIDGE 評価委員会でのヒアリングを通じ、効果的な施策実施のため条件付（フィージビリティ・スタディ（FS）等による開始前の十分な検討、今年度終了時のSIP 事業との連携性確保など）を行っている。

(3) 評価結果

- ・提案施策（27 件）の評価結果、配分額は次のとおり。
- ・採択事業は 14 施策、FS 事業は 3 施策で、配分額総額は 2,186 百万円。（令和 6 年度研究開発型予算総額 7,272 百万円のうち、新規施策分予算額 2,234.5 百万円）